

人民元預金は資産運用手段として有効か？



Profile： 謙信アセットコンサルティング（香港）代表取締役。香港在住歴7年の資産運用コンサルタント。特に団塊ジュニア世代向け年金・保険対策プランニングを得意とする。

人民元預金のリスク

「人民元預金は資産運用手段として有効か？」という問いに対して、さまざまな意見があると思いますが、私自身は「有効ではない」という立場を主張し続けています。

中国国内での人民元預金口座開設は、中国の非居住者でも簡単にできます。ただし、中国国内に持ち込める外貨は1回当たり2万元相当までに制限されており、中国国外に人民元を持ち出す場合も1回2万元までしか持ち出せません。中国の銀行から海外送金する場合は年間5万USDドルまで可能ですが、銀行の窓口まで出向く必要があり、手続きが複雑であるため、中国在住の方でも銀行窓口で一度に手続きを終えることは難しく、滞在時間が限られる旅行者の方ならなおさらです。中国で銀聯カードというデビットカードを発行してもらえば、中国国外で1日1万

元までの現金引き出しが可能ですが、これも原則として中国在住者向けサービスなので、政策変更のリスクが伴います。

人民元切り下げの可能性も

昨年6月に人民元相場に関して、米ドル固定レート制を解除して変動相場制に移行すると発表がありました。これにより人民元が大きく切り上がる可能性を取り沙汰されましたが、実際にはそのような動きになっていません。変動相場制といつても、複数の通貨レートを参考に人民元レートを決めるバスケット通貨制度になっているため、ドルとユーロが対相レートで弱くなっても、日本円など他の主要通貨が対相レートで強くなっている場合、人民元の上昇幅は低く抑えられることとなります。

中国は厳しい外為管理規制を敷いており、今後の人件費上昇に加

え、急激な人民元高は輸出企業に及ぼす影響が大きいと見られ、短期的に人民元が切り上がる可能性は考えにくい状況となりました。今後、中国の輸出不振が続く場合は、逆に人民元が切り下がる可能性さえあります。変動相場制へ移行したということは、将来的に人民元が切り上がる可能性だけではなく、経済情勢に応じて大幅に切り下がる可能性もあるということです。

通貨の流動性を常に意識

人民元を保有するならば、将来的な人民元の国際化と自由化を見越して長期保有するのは良いかもしれませんが、個人が保有する人民元を自由に外貨に両替したり、自由に海外へ送金できるようになるまでには、まだまだ長い時間がかかるでしょう。中国駐在員の方は中国国内で得た給与総額を超える国外送金はできないため、滞在期間中から年間5万USDドルの範囲で計画的に国外送金の手段を確保しておくことが大切です。

また、資産運用プランを考えるときに、見た目の利回りばかりを気にする方が多くいますが、それだけでは資産運用の方向性を見失うことになりかねません。資産運用の基本コンセプトとして、保有する通貨の流動性リスクも常に意識しなければなりません。いくら利回りが高くても、流動性の低い通貨で運用しているのは、景気変動

で資産価値が急落したり、資産を売却したときに買い手が付かないリスクを伴うこととなります。人民元建ての金融商品は、流動性の面でまだまだ多くのリスクを伴います。海外での資産運用は、米ドルやユーロなどグローバル基軸通貨を中心に加ドルや豪ドルなど流動性の高い資源国通貨を組み合わせて運用することが、ご自身の大切な資産を守り殖やすうえに有効な資産運用手段だと言えます。

資産運用をするなら香港で

香港は中国の外為規制の影響を受けないので香港の銀行から外貨両替と国外送金は自由に行なえます。香港の金融機関には年利5%前後の配当収入が付く元本保証型個人年金プランや高度医療費用をカバーする貯蓄型生命保険プランが豊富にあり、将来的な資金移動の自由度も考慮すると、香港は中国の経済成長の恩恵も受けながら、自由な金融取引が保障されたアジア随一の金融センターといえます。皆様の大事なお金は香港で活かすことを真剣にご検討ください。

今月のマネーの教訓

中国国内の人民元預金には流動性リスクが伴う。将来的な資産形成のために、自由な金融取引が保障された香港の金融機関の活用を。



将来の年金・保険対策はお済みですか？

個別のご相談も随時受付中！

お申込はメールもしくはお電話で木津まで

kitsu@kenshin.com.hk
TEL:+852-9062-0532

Kenshin Asset Consulting (Hong Kong) Co.,Ltd.
http://www.kenshin.com.hk/
社長ブログ：http://blog.explore.ne.jp/kitsu/

「海外で作る自分年金セミナー」開催のお知らせ(参加費無料)

- 1月22日(土) 18:00~20:00 ▶ 広州景星酒店1F会議中心A庁
- 1月23日(日) 13:30~15:30 ▶ 深圳粵海酒店11F会議室
- 1月24日(月) 19:00~21:00 ▶ 香港日本人倶楽部18F菊の間